



2018年4月6日
東京地下鉄株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

東京メトロ×JR東日本共同プロジェクト 「TOKYO SPORTS STATION」の第2シリーズが始まります！！

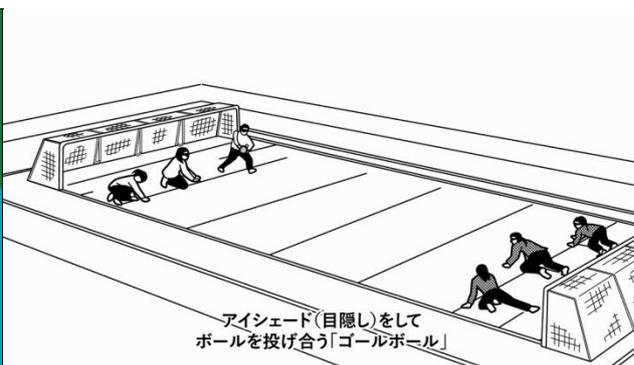
東京地下鉄株式会社(代表取締役社長：山村明義、以下「東京メトロ」)と東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」)のオフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)として、東京2020大会の各競技の見どころ・観戦ポイントを紹介する「TOKYO SPORTS STATION」の第2シリーズを開始いたしますのでお知らせいたします。

第1シリーズでは、新競技を中心に東京2020オリンピック競技を紹介してきましたが、第2シリーズでは東京2020オリンピック競技に加えて、新たに東京2020パラリンピック競技も紹介いたします。「TOKYO SPORTS STATION」は電車内のビジョンでも放映いたしますので、ぜひご覧ください！

- 1 主催 東京メトロ、JR東日本
- 2 概要 「TOKYO SPORTS STATION」第2シリーズ：2018年4月9日(月)～随時
- 3 第2シリーズ紹介競技
 - #05 ゴールボール
 - #06 バスケットボール
 - #07 車いすバスケットボール
 - #08 ウィルチェアラグビー
 - #09 セーリング
 - (参考) 第1シリーズ…2017年10月30日～
 - #00 始動告知、#01 スポーツライミング、#02 スケートボード、#03 空手、#04 サーフィン
- 4 動画展開 東京メトロ：Tokyo Metro Vision
JR東日本：トレインチャンネル
※特設YouTubeチャンネル
(https://www.youtube.com/channel/UCtgug6IzakjeRR4_suuBV4g)
からもご覧いただけます。(2018年4月6日(金)14:00以降随時公開)
- 5 ポスター展開 東京メトロ、JR東日本の電車内にポスター掲出

■ 「TOKYO SPORTS STATION」競技紹介 (#05 ゴールボール)

・動画



・ポスター



Tokyo 2020に
乗り遅れないための

TOKYO SPORTS STATION #05

ゴールボール編
Paralympic Sports



YouTubeで
動画を観よう!

**サポーターは、
無言の声援を届ける。**



数入りのゴールを使うのが特徴的なこの競技。ゴールボールは、目が見えない選手たちが、聴覚や振動などを利用してゴールを守ります。選手たちは聴覚を利用してゴールを守ります。サポーターは声をあげずに、試合を見守ります。静かに観る会場が特徴です。ゴールシーンでの大歓声は、圧巻の一景です。

**足音さえも、
フェイントにしてしまう。**



わずかな動作を手探かりにゴールを守る選手たち。相手はそれを選手にとり、ショットを打たない選手が投げつけるような動きをして、足音でフェイントをかけることも。ブラインドスポーツならではの、音の駆け引きは要チェックです。

**時速70キロを、
音だけで止める。**



アイシェードと呼ばれる目隠しをしていながら、向かってくるショットのスピードは想像以上。男子のトップ選手になると、なんと時速70kmに達することも。追いつくショットの反応は必須です。

【ゴールボールとは?】
ゴールボールは、アイシェード(目隠し)をした選手3人1チームで、18m×9mのコートを舞台に、数入りのゴールを投げ合う対戦型の球技です。選手は聴覚や振動などを利用してゴールを守ります。ゴールが入ると1点が与えられ、前半12分より多く得点した方のチームが勝ちとなります。

【競技会場】
幕張メッセ Cホール
(2018年3月現在の情報です)








東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)